



令和7年度 第3回 北浜小学校 学校運営協議会



学校 HP

浜松市立北浜小学校

〒434-0036 浜松市浜名区横須賀 800 番地

電話 586-2990 FAX 586-3035

メール kitahama-e@city.hamamatsu-szo.ed.jp



北浜小学校 学校運営協議会（コミュニティースクール）

令和7年11月28日（金）14:00～15:30

北浜小学校 会議室

【日程】 にじいろ日課

- 授業参観(各教室) 13:05～13:50
- 学校運営協議会(北校舎3階会議室) 14:00～15:30



【学校運営協議会】

<司会:平野、記録:古橋>

開会

- 1 会長挨拶
- 2 校長挨拶
- 3 第2回運営協議会の概要（古橋）
- 4 議長選出
- 5 熟議
 - （1）校内花壇の管理・運営について（吉川）
 - （2）本年度の学校経営の取組について（教頭）
 - ・ 全国学力調査の報告（教務）
 - ・ 教育課程アンケート結果（教務）
 - ・ 成果と課題、今後について（教頭）

<議長: >

6 2学期の活動報告（澄子、白井）

7 連絡事項

- ・ 令和7年度学校運営協議会自己評価表について
- ・ 「はまクル」リーフレットの説明
- ・ 次回予定
 - 第4回 2月18日（水） 授業参観 13:35～14:20
 - 学校運営協議会 14:30～16:00
- ・ 次回議長選出

閉会

【参加者】

学校運営協議会委員		
	氏 名	役職等
1	熊谷 三郎	北浜小学校運営協議会 会長
2	鈴木 澄子	副会長、学校支援コーディネーター
3	白井 一光	学校支援コーディネーター
4	齋藤 千朝	主任児童委員
5	田原 さやか	P T A会長
6	鈴木 崇之	元P T A会長

オブザーバー		
1	松野 聖	北浜南部協働センター
2	高林 未央	元P T A副会長

学校職員		
1	伊藤 公美子	校長 欠席
2	定盛 俊孝	教頭
3	常名 剛司	教務主任
4	平野 暁子	C S担当
5	古橋 佳代	C Sディレクター
6	吉川 隆太	3年3組担任、花壇担当

浜松市教育委員会		
1	山本 俊行	学校・地域連携課 地域連携グループ 指導主事



令和7年度 学校運営協議会 年間計画

令和7年4月1日～令和8年3月31日

回	日時 会場	主な内容 熟議のテーマ 等	備考
1	令和7年 4月28日 月曜日 11:00～12:00 会議室	熟議テーマ (1)学校運営の基本方針について (2)いじめ防止等のための基本方針について (3)夢育やらまいかCS加算分についての意見書について (4)学校応援団の年間活動計画	1年生を迎える会 10:10～10:55 学校運営協議会 11:00～12:00
2	令和7年 7月4日 金曜日 14:00～15:30 会議室	熟議テーマ (1)1学期の教育活動の振り返り (2)教職員と学校運営協議会委員との懇談 (3)今後のPTA活動の方向性について	給食配膳参観 11:50～12:05 給食試食会 12:05～12:50 授業参観 13:05～13:50 学校運営協議会 14:00～15:30
3	令和7年 11月28日 金曜日 14:00～15:30 会議室	熟議テーマ (1)校内花壇の管理・運営について (2)本年度の学校経営の取組について	授業参観 13:05～13:50 学校運営協議会 14:00～15:30 ※学校運営協議会の自己評価表 委員の意見収集⇒学校へ提出
4	令和8年 2月18日 水曜日 14:30～16:00 会議室	熟議テーマ (1)学校関係者評価 ・学校評価の自己評価について ・いじめ防止等のための基本的な方針について (2)令和8年度学校運営の基本方針について (3)令和8年度の教育活動について (4)学校運営協議会の自己評価	授業参観 13:35～14:20 学校運営協議会 14:30～16:00

※ 委員の過半数の出席で開催します。【浜松市学校運営協議会規則14条2項】



令和7年度 第2回 浜松市立北浜小学校運営協議会 会議録（要点記録）

- 1 開催日時 令和7年7月4日（金）14時00分から16時00分まで
- 2 開催場所 浜松市立北浜小学校 会議室
- 3 出席委員 熊谷 三郎、鈴木 澄子、白井 一光、齋藤 千朝、田原 さやか
- 4 欠席委員 鈴木 崇之
- 5 オブザーバー 松野 聖（北浜南部協働センター）
- 6 学 校 伊藤 公美子（校長）、定盛 俊孝（教頭）、平野 暁子（CS 担当）
守屋 香里（北斗学年主任）、梅林 智実（1 年学年主任）
大谷 秀（2 年学年主任）、金原 進（3 年学年主任）
藤原 淳史（4 年学年主任）、松本 景佑（5 年学年主任代理）
嶋川 吾一（6 年学年主任）、古橋 佳代（CS ディレクター）
- 7 傍 聴 者 16 人
- 8 会議録作成者 CSディレクター 古橋 佳代
- 9 議長の選出
司会者の教頭より、議長の選出について委員に意見を求めたところ、本日は鈴木澄子委員が務める旨の発言があり、全員異議なくこれを承認した。
- 10 協議事項
(1) 1学期の教育活動について
(2) 教職員（学年主任）と学校運営協議会委員との懇談
(3) 今後のPTA活動の方向性について
- 11 会議記録
司会者より委員総数6人のうち5人出席（1名欠席）があり、過半数に達しているため、会議が成立している旨の報告があった。

(1) 1学期の教育活動について
議長の指示により、CS担当から別紙資料に基づき説明があり、委員からは以下の発言があった。

- ・学校のニーズを聞き、保護者や地域住民への働き掛けをするにはどうしたらよいか。この場を話し合いの場にして欲しい。みんなでできることは実践していく方向で検討していきたい。(熊谷委員)
- ・今の学校給食について知ってもらいたい。教育DXが進められているが、子供たちには本物にも出会わせたいと考え、教員もその主旨の研修を取り入れる予定である。(校長)
- ・皆様のお力添えに感謝するとともに、これからも子供たちのために協力していただきたい。(CS担当)
- ・学校へ名札をつけて訪問することで、子供たちに名前を覚えてもらい、良い関係性が築けているように感じる。(鈴木澄子委員)
- ・1学期においては学校への支援を活発にいただき、良い流れができています。2学期も引き続き学校支援CDと連絡を取り合って意思疎通を図っていききたい。(教頭)

(2) 教職員(学年主任)と学校運営協議会委員との懇談

議長の指示により、教職員から学年経営案の説明および要望が発表され、以下の発言があった。

- ・一日のスタートを気持ちよく切れるように朝運動として、ラジオ体操を取り入れている。学校生活では身近な人・ものと関わりながら、自立した生活を身に付けさせたい。(北斗学年主任)
- ・今年度は1年生が入学後、落ち着いて学校生活を送ることができるよう、スタートカリキュラムを取り入れた。学校応援団の支援として校外学習引率、リース作り、昔の遊び補助をお願いしたい。(1年学年主任)
- ・1年生や地域の人などいろいろな人と関わる経験を多くさせたい。学校応援団には校外学習引率、おもちゃ作りの補助をお願いしたい。(2年学年主任)
- ・南校舎の最高学年として、1・2年生の模範になることを目指している。総合的な学習では北浜小の歴史や地域のことを勉強するので、今年度も講師をお願いしたい。(3年学年主任)
- ・家庭学習では段階的にタブレットとプリントを半分ずつにしている。子供たちが目指したい大人に出会える機会を与えたい。総合的な学習では、ユニバーサルデザインを勉強している。いろいろな人との関わり方を学ばせたい。(4年学年主任)
- ・高学年のサブリーダーとして、また、地域社会の一員として自覚し、行動できるようにしていきたい。総合的な学習で学んだことを深められるように学校応援団の方に子供たちの話を聞いてほしい。(5年学年主任)
- ・学校のリーダーとして自覚をもち、主体的に行動できるようにしていきたい。総合的な学習では、子供たちが自発的に木に札をつける活動や地域の花壇の整備、ベンチの設置などを計画しているので、是非協力していただきたい。(6年学年主任)
- ・これからの時代、受け身な子は生き残れない。自分で選択できる子に教育することが大切だと感じた。タブレットよりプリントの宿題を出してもらおう方が安心する親もいる。(齋藤委員)

- ・子供の宿題の関わり方や考え方は、年代で違う。タブレットの宿題に対して、低学年の子の親として違和感はない。 (田原委員)
- ・今まで自分が歩んできた社会人としての考え方が、今の教育とは真逆で様々な発見があった。 (白井委員)
- ・子供たちは自分の考えを学校の授業の中で形にしていくのだと感じた。学校応援団で授業に入り込みする際には、教職員との打合せなど不可欠である。 (鈴木澄子委員)
- ・何でもバランスが大切である。お便りなどで学校の思いを引き続き広報して、移行すべきことは徐々に行う方が良い。 (熊谷委員)

(3) 今後のPTA活動の方向性について

議長の指示により、PTA会長から別紙資料に基づき「令和7年度PTA活動方針について」説明があり、以下の発言があった。

- ・学校応援団を保護者にもっと知ってもらうにはどうしたらよいか。またPTA活動を学校と連携・協力した子供たちのためのものにしていきたいと考えている。 (田原委員)

その他報告事項等

司会から、次回会議は令和7年11月28日(金)14時00分から会議室で開催する旨の報告があった。

にじいろ花壇 整備計画 および「にじいろ花の会（仮）」発足について

I. 目的

栽培委員会、保護者、地域ボランティアが協力してにじいろ花壇で花を育てる活動を通じて、「こどもと大人がつながる学校」の実現を目指す。

II. 活動計画の概要

1. 活動名称

- にじいろ花の会（仮）
 - 正式発足に向けた準備期間の計画であり、参加者募集後に正式名称を決定する。

2. 活動期間と場所

項目	詳細	備考
花壇運営期間	11月に苗を植え付け。春にもう一度植え付け。翌年7月終盤までに完結。	夏休みに入るまでに全ての活動を終える。
整備場所	にじいろ花壇の噴水周辺4か所	まずは、この4か所を重点的に整備する。
主な協力者	地域ボランティア、保護者、栽培委員会（児童）	

3. 活動の実施体制

活動は「委員会活動」と「日常管理（ボランティア）」の2本柱で行う。

- 委員会活動：年間11回の委員会活動内で、栽培委員会の児童とボランティアが共同で花壇整備を行う。
- 日常管理（ボランティア）：
 - 毎週水曜日：草取りボランティアを兼ねた整備。
 - 土日：分担による水やり。

III. 年間活動スケジュール（案）

1. ボランティア募集計画

時期	活動内容	担当者	備考
12月1日以降	花壇ボランティア募集のお知らせ作成	栽培委員会、教員	「にじいろ花の会（仮）」への参加を募る。
12月終業式前	チラシ配布	学校	全家庭、および地域（回覧板等）に配布する。

2. 定期活動計画（1月～7月）

月	委員会活動回数（予定）	主な活動内容
1月	第1回（1/19・月）	ボランティアとの顔合わせ、植え付け後の状況確認と今後の管理内容の共有。
2月	第2回	冬場の管理、花壇の経過観察。
3月	第3回	春に向けた手入れ、新年度に向けた準備。
4月	新年度 第1回	新しい栽培委員会（児童）の組織化、活動の引き継ぎとボランティアとの共同作業開始。
5月	第2回	成長期の管理、病害虫対策。苗の植え付け。
6月	第3回	梅雨対策、花壇運営のまとめ準備。
7月	第4回	花壇の完結作業（花壇の片付け、次年度準備）。夏休み前までに完了。

子供と大人がつながる安心できる居場所づくりを目指して

北浜小学校は、本年度でコミュニティ・スクール設置6年目となりました。これまで多くの方々に御協力いただき、子供たちの学校生活がより充実したものになってきています。

令和7年度の北浜小学校運営協議会自己目標は、

令和7年度の学校経営方針「こどもと おとなが つながる学校」の具現化を目指し、学校、保護者、地域、関係機関等と連携し、子供と大人がつながる安心できる居場所づくりを目指す。

です。この1年間、この目標を具現化させるために、学校運営協議会で熟議を重ね、具体的な活動をしていきたいと思ひます。今後も、学校運営協議会並びに学校応援団活動への御理解・御協力をお願いします。

5年間という長い間にわたり、学校運営協議会委員と学校支援コーディネーターを務めていただきました 秋山 順一（あきやま じゅんいち）様が、3月末で御勇退されました。これまでの御尽力と御功績に感謝します。

そして今年度、新たに2名の方が学校運営協議会委員になりましたので紹介します。

本年度より、北浜小学校運営協議会委員・学校支援コーディネーターになりました。学校運営協議会委員とは、どんなものかと不安に思いながらのスタートでした。

第1回学校運営協議会に参加し、授業参観など小学校の校内を見させていたき、徐々に不安はなくなってきました。そこで感じたことは、学校教育の多くの難題と、教職員が校内を明るくいい環境にしようと頑張っていることでした。

学校運営協議会委員という役目が回ってきて、学校経営方針「こどもと おとなが つながる学校」に共感し、できる限りの協力をして学校と地域が楽しくつながることができるように活動していきたいと思ひます。そして、多くの地域の皆さんと保護者が学校応援団として、楽しく気楽に学校運営に参加をして、子供たちの成長を地域全体で見守っていける環境づくりに努めたいと思ひます。みなさんの御協力をお願いします。

学校運営協議会委員 学校支援コーディネーター 白井 一光（しらい かずみつ）

学校運営協議会委員となりました、令和7年度北浜小PTA会長の田原です。娘が2年生で私自身の北浜小との関わりもまだ2年目となりますが、PTA活動を通じて先生方や保護者の皆様とお話させて頂く中で1年目には見えなかった北浜小の魅力を新たにたくさん知ることができ、とても嬉しく思っています。まず何よりも子供たちがとても素直で、友達や周りのために自分で考えて動けるところが本当に素晴らしいと感じます。5月の運動会では、みんなで力を出し合って力一杯盛り上げてくれたことはもちろんですが、片付けにも自主的に取り組む5、6年生は下級生のお手本となるのにふさわしい姿でした。また、先生方は子供たちといつでも対等に向き合ってくださり、伊藤校長のリーダーシップのもと「こどもと おとなが つながる学校」を体現してくださっていると思ひます。そして、私が何よりも驚いたのは、地域の方々が北浜小のために惜しみなく時間を使い、日々支援くださっていることです。先日、2年生が生活科の授業で町探検に出かけた際、付き添ってくださった地域の方から、地域の歴史をたくさん教えてもらったと、娘が家で話してくれました。こういった関わりがごく自然に行われ、大切にしていけるのも北浜小の魅力だと思います。私自身もPTA及び学校運営協議会の一員として、少しでも子供たちの笑顔や成長に繋がる活動ができればと思っています。どうぞよろしくお願い致します。

学校運営協議会委員 田原 さやか（たわら さやか）

第1回学校運営協議会が開催されました

令和7年4月28日（月）、委員は「1年生を迎える会」を参観しました。その後、第1回の学校運営協議会を行いました。

始めに、校長が新年度の学校運営の基本方針の概要説明を行い、承認されました。さらに、「学校いじめ防止基本方針」に関することの説明をし、委員からは「未然防止のための取り組みはとても大切。」「急にいじめが起きた時は、早期に対応していただきたい。」「などの意見が出されました。その後、学校の運営に必要な支援に関することの熟議を行いました。本年度の取り組みの重点として「花壇運営」「児童の登下校の見守り」の2点があげられ、委員からは、「現在中心となっている職員から花壇運営のノウハウを受け継ぎ、将来を見据えた運営づくりをしていきたい。」「学校応援団に多くの保護者に参加していただきたい。」「児童の登下校の見守りは、自治体の協力が必要。」「などの意見が出されました。そして、令和7年度の教育活動の方向性を委員全員で確認しました。

4・5月の学校応援団の活動の様子



1年生 給食準備の補助



1年生 アサガオの種まきの補助



1・2年生 交通教室「歩行訓練」見守り



2年生 美蘭中央公園への校外学習の引率



毎週水曜日 草取りボランティア



毎週木曜日 読み聞かせボランティア



地域の皆さんが**学校応援団**です。

学校と地域で北浜小の子供たちを**笑顔**にします。

あなたの力をお貸しください。

【お問い合わせ・お申込み 学校ホームページ】



R7. 7. 25 発行

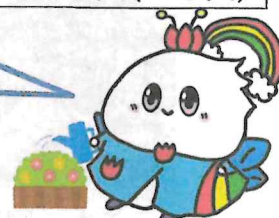
コミスクだより

浜松市立北浜小学校 学校運営協議会

学校経営方針「**こどもとおとながつながる学校**」の具現を目指して、保護者や地域住民の学校応援団が精力的に動いています。1学期の活動の様子を御紹介します。

活動内容	月 日	参加延べ人数 (内保護者)
1年生 給食配膳の補助	4月14日(月)～4月25日(金)	41人(9人)
1・2年生 交通教室 歩行訓練見守り	4月30日(水)	7人(0人)
1年生 生活科 アサガオの種まき補助	5月12日(月)	6人(0人)
2年生 生活科 校外学習の付き添い	5月30日(金) 6月 5日(木) 6月20日(金)	6人(5人) 6人(5人) 8人(2人)
全校児童 七夕飾り笹準備	6月27日(金)	2人(0人)
2年生 図画工作科 カッター工作補助	7月 7日(月)～7月 9日(水) 7月15日(火)、7月16日(水)	8人(6人)
校庭の草取り	毎週水曜日 (猛暑日中止)	常時5、6人(2人)
花壇の水やり	毎週土、日曜日 夏休み期間	23人(22人)
読み聞かせ	5月22日(木)～7月17日(木) の期間の毎週木曜日	57人(38人)
学習時の児童見守り	週2回	2人(0人)

夏休みには、花壇の水やりを23人の学校応援団の方が受け持ってくださいます。あれがたい！たのもし！
熱中症には、お気をつけてください。



PTA では、「学校応援団を保護者のみなさんに知ってもらいたい。参加者数を増やしたい。」という目標をもって、活動に取り組んでいます。

保護者や地域のみなさんの「ちょっとお手伝い」の気持ちを寄せ合い、手を取り合えば、北浜小学校の教育活動がますます充実していくことでしょう。

学校応援団のために個人持ちの名札を学校が用意してくださいました。人と人が関わりを深めていくのには挨拶と相手の名前を知ることだと思います。名札の裏面には覚えてもらえるようニックネームを書きました。「くまさん」、「かずちゃん」、「すみちゃん」。いい年をして「ちゃん」と呼ばれるのは照れますが、気持ちウキウキです。

学校応援団として参加させてもらっていますが、実は「自分応援」です。子供たちのためと思って活動していても、子供たちの素直な心や愛らしい笑顔にふれ、終わってみれば「さわやかな疲れ。」と「いい時間を過ごせた。」と、充実感に満たされます。

みなさんも「北浜小学校応援団」でいい時間を過ごしませんか。

第2回学校運営協議会が開催されました

令和7年7月4日(金)、運営協議会委員が給食配膳参観と給食試食会を行いました。委員からは、「静かに配膳している子供たちの様子を見て感動した。」「日頃、当たり前のように食べている給食に感謝することが大切。」などの意見が聞かれました。その後、授業参観、第2回学校運営協議会を行いました。学校運営協議会では、1学期の学校教育活動について振り返りました。その後、学年主任と学校運営協議会委員との懇談を行いました。学年主任からは、学年の子供をどのように育てたいかの説明と今後の教育活動で必要となる学校応援団についての話がありました。委員からは、「今後も、教職員との対話を行い、一緒になって北浜小の子供たちを育てていきたい。」「学校経営方針の『こどもとおとながつながる学校』を具現化するために、尽力していきたい。」などの意見が出され、有意義な懇談となりました。



給食試食会の様子

6・7月の学校応援団の活動の様子



地域から七夕笹竹の提供



2年生 学区探検の見守り



2年生 図画工作科 カッター工作の補助



木曜日 読み聞かせボランティア



水曜日 草取りボランティア

草取りボランティアが、南校舎の南側花壇の花の苗植えをしてくださいました。中央花壇(にじいろ花壇)は、学校で管理していますが、今後、学校応援団の力を借りて運営していきたいと考えています。現在、6年生の子供たちが、地域や保護者の花壇ボランティア募集の用紙を作成しています。2学期になりましたら、配付しますので多くの方の御協力をお願いします。



保護者・地域の皆さんが**学校応援団**です。
学校と地域で北浜小の子供たちを**笑顔**にします。
あなたの力をお貸しください。

【お問い合わせ・お申込み 学校ホームページ】



「できることから、子供たちのために」

ー北浜小学校運営協議会委員としてー

ー昨年、北浜小学校 PTA 会長を務めさせていただいたと同時に、学校運営協議会委員を拝命いたしました。委員として学校の運営に関わることができ、なかなかできない経験をいろいろとさせていただき大変嬉しく思っています。

学校運営協議会では、学校の運営・取り組み等について様々な視点からの意見交換がされ非常に実りのある場であると感じます。地域の皆様、校長先生をはじめとした学校職員の皆様が、北浜小学校をより良くするために日頃からボランティア等を通して御尽力されていること、子供たちがこんなにも多くの皆様に支えられているのだと実感・理解することができ、私にとってはとても有意義な場になっています。

その一方で、地域の皆様のボランティアは年々増えているものの、保護者ボランティアはこれまで多いとは言えませんでした。しかし、本年度になり、徐々に保護者の皆様が活動に参加してくださる姿が見られるようになり、とても嬉しく思っています。私自身も、できる範囲で草取りボランティアに取り組んでいます。学習支援や読み聞かせは難しくても、「自分にできることを少しだけ」という気持ちで参加できる活動があることを、身をもって感じています。



これからも草取りボランティアには参加し続けたいと思っています。無理のない形で保護者の皆様が学校に関わり、地域とともに子供たちを見守る輪が広がっていくことを願っています。

最後になりますが、私は北浜小学校を心から素晴らしい学校だと感じています。自分の子供がこの学校で学んでいることを誇りに思いますし、その思いを持つことができたのは、学校運営協議会に関わらせていただいたおかげです。心より感謝いたします。

学校・地域・保護者が一体となって子供たちを育んでいけるよう、今後も力を尽くしていきたいと思っています。どうぞよろしくお願いいたします。

学校運営協議会委員 鈴木 崇之

こどもと おとなが つながる未来づくり

6年生の総合的な学習の時間「Future Project」では、地域や学校の未来をよりよくしようとする3つのプロジェクト【空き地再生プロジェクト】【樹木プレートプロジェクト】【希望のベンチプロジェクト】に取り組んでいます。

11月10日（月）には、空き地再生プロジェクトチームの子供たちが、学校応援団の方々と青少年赤十字の皆さんと一緒に、学校西側のスクランブル交差点付近にある花壇に花の苗を植える活動を行いました。パンジーやノースポール、キンセンカなどの花々が植えられ、花壇が色とりどりに明るく生まれ変わりました。

この活動には、子供たちの「**地域をよくしたい**」という思いと、大人の皆さんの「**子供たちを応援したい**」という思いが重なっています。これからも一緒に花壇の手入れを続けながら、互いの思いを育てていきます。

本校の学校経営方針「**こどもと おとなが つながる学校**」のもと、子供と大人が共に手を取り合い、地域の未来を創る姿が広がっています。



※ **横須賀のスクランブル交差点の花壇ボランティアを募集**しています。子供たちと一緒に地域をより良くする活動を行いませんか。問合せ先 学校電話 586-2990【担当 平野】

2学期 学校応援団の活動の様子



2年 校外学習の引率補助



北斗学級 北斗まつりの補助



3年 「昔の地域のお話」講師



1年 アサガオリース作りの補助



地域の皆さんが**学校応援団**です。

学校と地域で北浜小の子供たちを**笑顔**にします。

あなたの力をお貸しください。

【お問い合わせ・お申込み 学校ホームページ】⇒



(様式1)

学校番号 (小・中)

令和7年度 学校運営協議会自己評価表

浜松市立 () 学校運営協議会長

<本年度の目標>

- ※ 前年度に協議会で協議した目標を再確認し、委員間で共有する。
- ※ 目標が、会議体として相応しい目標か、学校運営の基本方針に関わることを中心に据えられているか等を確認する。

※ 1～2点に絞るとよい。

※ **【重要】<評価項目1～3>と<来年度の目標>は、委員個人の評価ではなく、協議会としてまとめた評価を記載する。**

<評価項目1> 学校運営の基本方針について熟議することができたか。

⇒ ア よくできた イ できた ウ あまりできなかった エ できなかった
(理由)

- ※ 参考資料【熟議チェックシート】の評価項目1をもとに、振り返る。
- ※ 委員個人の評価ではなく、協議会としての評価を記載する。
- ※ 学校運営の基本方針（自校の学校教育目標や「育てたい力」等）について、協議した内容を簡潔に評価する。（1～2点でよい。）

<評価項目2> 承認した学校運営の基本方針に沿った、教育活動の充実につながる学校支援活動などについて熟議を進めることができたか。

⇒ ア よくできた イ できた ウ あまりできなかった エ できなかった
(理由)

- ※ 参考資料【熟議チェックシート】の評価項目2をもとに、振り返る。
- ※ 成果・課題等を簡潔に記載する。方法論だけではなく、「育てたい力」や「目指す子供の姿」とのつながりをポイントにする。（1～2点でよい。）

<評価項目3> 協議会での協議結果について、十分な情報発信を行ったか。

⇒ ア 充分に行った イ 行った ウ あまり行わなかった エ 行わなかった
(理由)

- ※ 協議会での協議結果（会議録への記載内容等）について、どんな方法による情報発信を行ったか、それによってどのような効果があったのか等を振り返って記載する。

<評価項目4> 今年度の評価を踏まえた来年度の目標

- ※ 1～2点に絞り、記載する。
- ※ 学校運営協議会は、会議体であるため、会議体として相応しい目標を設定する。委員が、個人としてボランティア活動に参加することは想定されるが、学校運営協議会がボランティア活動の主体となることは想定していない。
- ★ 自己評価の結果については、学校ホームページで公表する。

(様式1)

学校番号 (小・中)

令和7年度 学校運営協議会自己評価表

浜松市立(北浜小)学校運営協議会長

＜本年度の目標＞

令和7年度の学校経営方針「こどもと おとなが つながる学校」の具現化を目指し、学校、保護者、地域、関係機関等と連携し、子供と大人がつながる安心できる居場所づくりを目指して熟議をしていく。

＜評価項目1＞ 学校運営の基本方針について熟議することができたか。

⇒ ア よくできた イ できた ウ あまりできなかった エ できなかった
(理由)

＜評価項目2＞ 承認した学校運営の基本方針に沿った、教育活動の充実につながる学校支援活動などについて熟議を進めることができたか。

⇒ ア よくできた イ できた ウ あまりできなかった エ できなかった
(理由)

＜評価項目3＞ 協議会での協議結果について、十分な情報発信を行ったか。

⇒ ア 充分に行った イ 行った ウ あまり行わなかった エ 行わなかった
(理由)

＜評価項目4＞ 今年度の評価を踏まえた来年度の目標

(様式2)

令和7年度 学校運営協議会自己評価表

委員名 ()

＜本年度の目標＞

令和7年度の学校経営方針「こどもと おとなが つながる学校」の具現化を目指し、学校、保護者、地域、関係機関等と連携し、子供と大人がつながる安心できる居場所づくりを目指して熟議をしていく。

＜評価項目1＞ 学校運営の基本方針について熟議することができたか。

⇒ ア よくできた イ できた ウ あまりできなかった エ できなかった
(理由)

＜評価項目2＞ 承認した学校運営の基本方針に沿った、教育活動の充実につながる学校支援活動などについて熟議を進めることができたか。

⇒ ア よくできた イ できた ウ あまりできなかった エ できなかった
(理由)

＜評価項目3＞ 協議会での協議結果について、十分な情報発信を行ったか。

⇒ ア 充分に行った イ 行った ウ あまり行わなかった エ 行わなかった
(理由)

＜評価項目4＞ 今年度の評価を踏まえた来年度の目標

浜松市が目指す 地域クラブ活動『はまクル』始動

2026年9月より
休日の学校部活動は地域クラブ活動に変わっていきます



浜松市では、すべての中学生が安心して
スポーツや文化芸術活動が続けていける環境を目指し、
地域の人たちで運営し、中学生がだれでも参加できる
地域クラブ活動「はまクル」を推進していきます。

まずは休日から。

一人一人がやりたい活動を思いきり楽しみ、
上手になりたい人は力を伸ばし、
仲間とのキズナや地域の人たちとのつながりを深めていく。
そんな、ワクワクする地域クラブをみんなでつくっていきます。



『浜松市「休日の部活動の地域展開」に関するガイドライン』(案)を
2025年10月24日(金)に公表しました。

通称「はまクルガイドライン」



概要版



全文

ロードマップ

準備期間

～2026年3月

- ▶ 制度の周知や申請方法のご案内
- ▶ 団体・指導者は申請・登録の準備

申請期間(予定)

2026年4月～

- ▶ 「はまクル認定クラブ」の申請受付開始
- ▶ 指導希望者は「はまクル人材バンク」へ登録
- ▶ 参加を希望する生徒の入会受付開始

移行開始

2026年9月～

- ▶ 学校の休日部活動は原則終了
- ▶ はまクル認定クラブの活動開始

なぜ休日の学校部活動が 地域クラブの活動に変わるの



これまでの部活動は、学校の先生が中心となって指導をしてきました。しかし、少子化の影響で生徒数が減り、チームをつくるのが難しくなったり、先生の負担が大きくなってきたりと、今の形のまま続けるのが難しくなっています。

そこで浜松市では、部活動のよさを残しつつ、休日については学校の部活動の枠にとらわれず、みなさんがスポーツや文化芸術活動に継続的に取り組むことができる環境をつくっていくこととしました。これを「休日の部活動の地域展開」といいます。

「はまクル」とは、浜松市が目指す地域クラブ活動のことです。はまクルの理念に沿って認定を受けた「はまクル認定クラブ」では、地域の人たちと共に、これまでの部活動にある競技や文化芸術活動だけでなく、さまざまな競技や活動を楽しめるようにしていきます。

ぜひ、自分に合ったクラブ活動を見つけて、参加してみてください！

「はまクル認定クラブ」のメリット

✓ 認定クラブだから安心

「はまクル認定クラブ」は、浜松市が定める認定要件をすべて満たした団体です。各クラブは、はまクルガイドラインに沿った活動を行っているので、安心して参加できます。

✓ 自分の興味で選べる

休日に参加するクラブとして、興味のあるスポーツや文化芸術活動を、自分で選んで参加できます。複数のクラブに参加することもできます。

✓ 新たな活動に チャレンジできる

学校の部活動に設置されていない種目や分野でも、気軽にチャレンジすることができます。自分の新たな可能性を広げるチャンスです。

✓ 地域との つながりが生まれる

クラブによっては、地域の大人や他の学校、他の年代の仲間と一緒に活動できて、交流が広がります。

参加の流れ

※すでに入会しているクラブがはまクル認定クラブになる場合は、特に入会の手続きはありません。

1 参加したいクラブを探そう

ポータルサイト(準備中)をチェックして、はまクル認定クラブからやってみたいクラブを探してみましょう。クラブの方針や活動場所への移動手段、参加費等を確認し、ご家族で相談して決定しましょう。

2 クラブに連絡を取ろう

参加したいクラブが決まったら、ポータルサイト(準備中)から問い合わせや申し込みをしましょう。最初は見学や体験から始めてみるのもよいでしょう。

3 クラブに入会して活動をスタートしよう

申し込み完了後、活動日時や場所、持ち物等をよく確認し、はまクル認定クラブの活動に参加しましょう！

いよいよ活動がスタートです！



はまクル認定クラブを運営したい方へ

市の認定を受けると 「はまクル認定クラブ」 として運営できます



「はまクル認定クラブ」は、ゼロからクラブを設立するパターンと既存クラブから移行するパターンのどちらかが考えられます。認定のために必要な5つの要件を規約に明記して申請することになります。認定を受けたクラブには、中学校施設を無償で使用できるなど、市としての支援をしていきます。

子どもたちの成長や地域のつながりを育む新しいクラブのカタチを、一緒につくっていきませんか。

指導者として関わりたい方へ

スポーツ・文化芸術活動の 経験を活かし、生徒の成長を 支える指導者を募集



浜松市では、子どもたちの地域クラブ活動を支援くださる指導者を広く募集し、「はまクル人材バンク」に登録していきます。子どもたちのために、あなたのスポーツや文化芸術活動の経験を活かしてみませんか。特別な資格や条件などはありませんが、活動を開始するには、原則、動画視聴等の研修の受講が必要です。既に資格や専門的な知識を持つ方であれば、より大きな力を発揮していただけます。

参加を希望される方は、ぜひ「はまクル人材バンク」へご登録ください。

〈お問い合わせ〉

「はまクル」の取り組みについて、ご不明な点やご質問等がありましたらご連絡ください。クラブの認定手続きや認定クラブへの参加等についての相談も随時受け付けています。

浜松市教育委員会 学校・地域連携課

TEL 053-457-2405

E-mail chiikitenkai@city.hamamatsu-szo.ed.jp

